

令和5年度 学校経営計画書（全日制）

学校番号	54	学校名	榛原高等学校	校長名	鈴木 安雄
------	----	-----	--------	-----	-------

1 スクール・ミッション（学校の使命）

地域に愛され、地域と生きる普通科・理数科併置校として、進学希望を実現する教育活動と、グローバルな探究を通して、未来の社会の発展に貢献するリーダーとなる、能力と視野をもった人の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー（教育の方針）

【普通科】

観点	グラーデュエーション（卒業）	カリキュラム（教育課程）	アドミッション（入学）
	次のことを育成します	次の教育を実践します	次のような生徒の入学を期待します
学力・進路	大学等や実社会で力を発揮して活躍するための確かな学力	全体・個別に最適な学びを通じて、進路実現を可能にする学習	大学等への進学を目指して主体的に学ぶ意欲をもつ
グローバル探究	世界と地域に目を向けて探究し、社会参画しようとする態度	地域、大学等と連携したグローバルな探究活動や研修	様々なことについて探究心をもつ
資質・能力	他者対話・協働し、課題解決、情報活用主体的に取り組み創造する力	主体的・対話的・協働的に課題を発見・解決し、発信する活動	目標を設定し、人と協力しながら向上心をもって行動する
課外活動	主体性と協調性をもって組織や社会に貢献する姿勢	教科等の学習と部活動等の課外活動との文武両道を実践	部活動、課外活動において積極的に行動する
人格・理念	進取の精神と、社会で協調・適応・自己表現できる人	進んで物事に取り組む姿勢、自己管理と礼節、仲間を尊重する心を育む教育	他者への思いやりと、物事にチャレンジする意欲をもつ

【理数科】

観点	グラーデュエーション（卒業）	カリキュラム（教育課程）	アドミッション（入学）
	次のことを育成します	次の教育を実践します	次のような生徒の入学を期待します
学力・進路	大学や実社会で力を発揮して活躍するための確かな学力	個別に最適な学びを通じて、幅広い教養、理数系科目と英語の学習	大学進学を目指して主体的に学ぶ意欲と理数系への関心をもつ
グローバル探究	世界と地域に目を向けて探究し、社会参画しようとする態度	地域、大学等と連携したグローバルな探究活動や研修	強い好奇心、理系分野への探究心をもつ
資質・能力	他者対話・協働し、課題解決、情報活用主体的に取り組み創造する力	主体的・対話的・協働的に課題を発見・解決し、発信する理数探究や研修	目標を設定し、向上心とコミュニケーション力をもって行動する
課外活動	主体性と創造力を活かして組織や社会に貢献する姿勢	教科等の学習、部活動等の課外活動、自己の興味を高める活動を実践	部活動、課外活動、自主的な活動において積極的に行動する
人格・理念	進取の精神と、社会で協調・適応・自己表現できる人	進んで物事に取り組む姿勢、自己管理と礼節、仲間を尊重する心を育む教育	他者への思いやりと、粘り強く努力する姿勢をもつ

※生徒に身に付けさせたい資質・能力（参考）

- ①情報収集・分析力 ②課題設定・解決力 ③思考力（論理・批判・創造的）
④メタ認知力 ⑤表現力・発信力 ⑥協働力（自己・他者理解） ⑦社会参画力・意思決定力

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 学び…個別最適な学びを通じて学力を高めるとともに、グローバルな探究活動を行う。
イ 進路…一人ひとりの進路希望実現のため、系統的かつ個に応じた進路指導・支援を行う。
ウ 生活…規範を守り、進んで諸活動に取り組み、自己管理と礼節、仲間を尊重する心を育む教育を行う。
エ 安全…安全で安心な学校生活を保ち、整った環境づくりを教職員・生徒ともに行う。
オ 職員…授業改善等の資質向上を図るとともに、教職員の業務について改善を図る。
カ 広報…学校関係者、保護者等とともに教育活動の改善に取り組み、適時に情報を共有・発信する。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当
ア	個別最適な学びを通じて確かな学力を高めるとともに、グローバルな探究活動を行う	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の実態に即しつつ、授業内容が理解できるよう授業改善・工夫を行う。 ○自学課題等は、共通のものや発展的なものを示し、生徒が主体的に学ぶ支援をする。 ○生徒個人端末等の ICT を活用した教育活動を実践し、学力と情報活用能力を高める。 ○対話的・協働的な学習や探究活動を通して、思考力、表現・発信力、協働力を高める。 ○HAFプロジェクトにより、地域等と連携した探究活動・研修を充実させ、グローバルな資質・能力やリーダー性を育成する。 ○朝読書等を通して読書を推奨する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教員は授業内容を理解できるよう指導していると思う生徒90%以上 ○自分が行うべき家庭学習ができている生徒80%以上 ○個人端末を効果的に活用した学習等をする生徒（1・2年）90%以上 ○探究活動等を通して思考力・表現力・協働力を高めた生徒85%以上 ○地域等と連携したグローバル事業（研修、発表等）を実践している ○英語4技能を高められた（英検取得等）生徒 前年度比アップ ○新着図書情報等を毎月発信 	教務部 探究部 各教科 各学年
イ	一人ひとりの進路希望実現のため、系統的かつ個に応じた進路指導・支援を行う	<ul style="list-style-type: none"> ○進路行事、補講、個別指導を適時適切に行い、生徒の進路希望達成を支援する。 ○学びの基礎診断等を有効に活用し、進学に向けての高い志と確かな学力を育てる。 ○進路シラバス、探究活動等と連動したキャリア教育を実践する。 ○体系的な理数科の教育計画により、難関大学及び医療系学部への進学者を支援する。 ○PTAと連携した「保護者のための進路勉強会」を計画的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路指導に満足している生徒85%以上 ○学びの基礎診断や模擬試験における結果 前年度比アップ ○卒業生の国公立大学合格30%以上 ○探究活動等を活かして進学する生徒10人以上 ○理数科からの難関大学及び医歯薬学部進学者20%以上 ○「進路勉強会」の満足度平均90%以上 	進路部 各学年 探究部 理数科 総務部
ウ	規範を守り、進んで諸活動に取り組み、自己管理と礼節、仲間を尊重する心を育む教育を行う	<ul style="list-style-type: none"> ○行動規範・ルールを守ることを、全ての教育活動において徹底する。 ○「時を守る」ことを適切に指導する。 ○日常場面でのあいさつ指導を通し、「礼を正す」ことを涵養する。 ○自他を尊重する態度を育成する。 ○生徒の個性、多様性を尊重した指導をする。 ○学校行事・課外活動における生徒の主体的な取組を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内で端末機器を利用規約に沿って使用している生徒95%以上 ○期限を守っている生徒90%以上 ○校内外においてあいさつができていない生徒95%以上 ○教員は生徒の個性を尊重していると思う生徒90%以上 ○課外活動に積極的に参加している生徒85%以上 	生徒部 教務部 各学年

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当
エ	安全で安心な学校生活を保ち、整った環境づくりを教職員・生徒ともに行う	<ul style="list-style-type: none"> ○「場を浄める」ことを教職員と生徒が常に実行する。 ○教職員・生徒が感染症予防等の健康・衛生管理を適切に行う。 ○個々の生徒の悩みや困り感に対応し、外部機関と連携した教育相談、ケース会議等を適時に行う。 ○確実な情報共有と初期対応によりいじめを根絶する。 ○毎月の安全点検を通して、学校施設設備の維持管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内の清掃・整頓が行き届いていると思う生徒90%以上 ○教職員・生徒が健康・衛生管理を徹底している。 ○教育相談に満足している生徒80%以上、保護者80%以上 ○いじめ、体罰、重大交通事故0件 ○安心して学校で生活できる施設・環境であると思う生徒90%以上 	生徒部 各学年 総務部 事務部
オ	授業改善等の資質向上を図るとともに、教職員の業務について改善を図る	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的な教員研修により、現代的教育課題や教育方法等について知識・技能を高める。 ○教員相互の授業見学を行い、授業改善を推進する。 ○校外研修（静岡大学教育学部との連携、オンライン講座等を含む）への参加を推奨する。 ○業務の適正化を図り、教職員がワーク・ライフ・バランスを実現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研修テーマ「生徒をみる、支える」について知識・技能が高まった教員80%以上 ○他教員の授業見学を年2回以上行った教員80%以上 ○校外研修に参加した教職員80%以上 ○教職員の時間外在校等時間の状況前年度比減少 	教務部 事務部 管理職
カ	学校関係者、保護者等とともに教育活動の改善に取り組み、適時に情報を共有・発信する	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を年4回実施し、効果的な協議の場とする。 ○学校ホームページ、SNS等により、適時な情報提供を行うとともに、地域・保護者の閲覧を促進する。 ○保護者等を対象とした情報提供を適時適切に実施する。 ○中学生等を対象とした広報活動を適時適切に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会の協議内容を学校運営に活かしている。 ○保護者の学校満足度90%以上 ○HP記事等を月平均で15以上アップする ○定期的に関覧する保護者60%以上 ○学校が必要な情報を発信していると思う保護者95%以上 ○学校広報掲示物を月1回発行 ○一日体験入学、オープンスクール等の満足度90%以上 	総務部 各学年 管理職